

お米の食育・地産地消 に関する動画を 募集しています！



～動画応募で新米をゲットしよう～



愛知県産のお米の地元での消費率を上げる活動を始めます！なぜか？

- ◆愛知は農業県なのに、米の県内消比率は約30%と低い
- ◆地産地消は運送距離も少なく、CO2の削減につながる
- ◆愛知県の稲作農業を盛り上げたい



<取り組み内容>

愛知県で栽培・収穫されたお米の地産地消を目的とした
県内小学生向けの「お米の消費拡大動画」作成

ぜひ、みなさんのアイデアを動画にしてから応募してください！→
優秀な作品には豪華賞品も準備しています！



<こんな内容を動画にしてください>

(1) 田んぼの機能

水田はさまざまな機能を果たしています。例えば、

- ①治水機能（田んぼは小さなダム）
- ②生物の多様性の保全機能
- ③気温の緩和機能

(2) 田んぼはみんなのもの

今では、田んぼにごみを捨てる人もいるのが現状です。

田んぼはみんなのもの、地域のもので意識して守っていきたいです。

(3) 愛知のご飯の消費が下がると農地が減少する

愛知のご飯の消費が下がると、農業者と耕作面積が減少し、輸入に頼らざるを得なくなり、みんなが食べるものに困ることになります。食料安保のため、田んぼを維持する必要があります。

(4) 地産地消

地産地消は、流通経路や収穫後に消費者が手に取るまでの時間が短いです。

だから、

- ①フードマイレージが少ない（輸送によるCO2排出量が圧倒的に少ない）

- ②新鮮（お米も農産物）

つまり、SDGsにも貢献するエシカル消費となっています。

<問い合わせ先①> 企画・事務局

JAあいち経済連 米穀部 農産販売課 担当：中村・間宮

電話052-951-3628 FAX052-961-3544

E-Mail : k.mamiya@ja-aichi.or.jp

愛知県稲作経営者会議

事務局 一般社団法人愛知県農業会議 担当：竹内

愛知県名古屋市中区三の丸2-6-1